

3. 提供する生産請負サービスの内容

(1) 請負スタッフが担当する業務

請負企業がユーザーの職場で提供しているサービスの内容、つまり請負スタッフが実際に担当している業務として、回答した70営業所のほとんどが指摘しているのは、「加工・組立・充てん」(94.3%)、「製品の点検・検査」(94.3%)である。「包装・梱包作業」(74.3%)、「運搬作業」(58.6%)を指摘する営業所も多く、反面「熱処理・表面処理」は4割弱、「機械設備の保守・点検」は4分の1程度の営業所が指摘するにとどまった(図表1-50)。

図表1-50 請負スタッフが担当している業務(複数回答,%)

回答営業所(n)	70
加工・組立・充てん(機械設備の監視・操作を含む)	94.3
製品の検査・点検	94.3
包装・梱包作業	74.3
運搬作業	58.6
熱処理・表面処理	37.1
機械設備の保守・点検	25.7
その他	8.6

(2) 生産ライン全体の請負

生産ラインの一部のみならず、生産ライン全体を任されているユーザー事業所があるという営業所の割合は、回答営業所の71.4%に達した。しかし、そうした営業所が取引している全ユーザー事業所の中で、生産ライン全体を任されている事業所の割合は、9.5%¹⁰⁾にすぎない。つまり、生産ライン全体を任されているユーザー事業所があるという営業所でも、実際に行っている生産請負のほとんどは、ラインの一部のみを担当する形となっている。

(3) 単発的生産請負作業への対応

昨年度(2002年度)の売上高において、1~数日の単発的な生産請負作業からの売上が占める比率は、「0%」という営業所が回答営業所全体の34.3%、「5%未満」が51.4%とである。企業調査の場合と同じく、単発的請負の比重は非常に小さいことが示されている(図表1-51)。

ただし、回答営業所が、単発的な生産請負に対するユーザー事業所のニーズに、決して消極的に対応しているわけではない点も、企業調査と同様、調査の結果として現われている。単発的な生産請負作業の依頼があった場合には、「既存の顧客・新規の顧客に関わらず、できるだけ対応している」という回答営業所が約4割と最も多く、